

連続3回講演会

東大阪郷土の歴史と文化遺産

～あなたに知ってほしい、観てほしい史蹟、旧蹟～



写真左から「枚岡神社」(東大阪市出雲井町)・「鴻池新田会所」(東大阪市鴻池元町)・「蓮城寺位牌堂」(東大阪市若江南町) 提供: 東大阪観光協会

東大阪市を中心とする地域は、古代以来、生駒山麓や旧長瀬川・玉櫛川沿いの自然堤防を中心に集落が営まれ、平安時代から鎌倉時代には玉串庄などいくつかの荘園が設置されました。南北朝から戦国期にかけて、河内地方は絶えず戦乱に巻き込まれ荒廃を繰り返しますが、江戸時代の初めには総数 61 ケ村あり、江戸時代後半には大和川付け替え後、新たに開発された新田を合わせ、77 ケ村が所在していました。今回、東大阪観光協会と共催で同協会まちガイドボランティア講師の南 光弘さん(東大阪文化財を学ぶ会会長)をお迎えして、東大阪市を中心に繰り広げられた歴史と文化遺産をテーマに講演会を実施します。

第1回 2月26日(火曜日) 「『日本書紀』と 郷土・東大阪」

第2回 3月10日(日曜日) 「動乱の近世、始まりと終焉の地」

第3回 3月24日(日曜日) 「水の歴史回廊・古大和川と人々の暮らし」

講師 南 光弘さん(東大阪観光協会まちガイドボランティア講師・東大阪文化財を学ぶ会会長)

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室(東大阪市荒本北1丁目2番1号)

定員 各回80名(先着順、申込不要、受講無料)

時間 各回14時から15時30分(開場13時30分)

講演概要

第1回 2月26日(火曜日)

『日本書紀』と郷土・東大阪

元春日枚岡神社、石切劔箭神社、善根寺春日神社
衣摺頭彰碑、楯津之浜碑などを紹介

第2回 3月10日(日曜日)

動乱の近世、始まりと終焉の地

若江城址、木村重成墓、蓮城寺・霊牌堂、
弥栄神社・馬立跡
権現塚と恩蹕遺趾碑などを紹介



若江城跡(東大阪市若江北)

第3回 3月24日(日曜日)

水の歴史回廊・古大和川と人々の暮らし

中 甚兵衛頭彰碑、鴻池新田会所(国史跡)、川中邸屋敷林
中小阪地蔵尊、吉原地蔵尊などを紹介



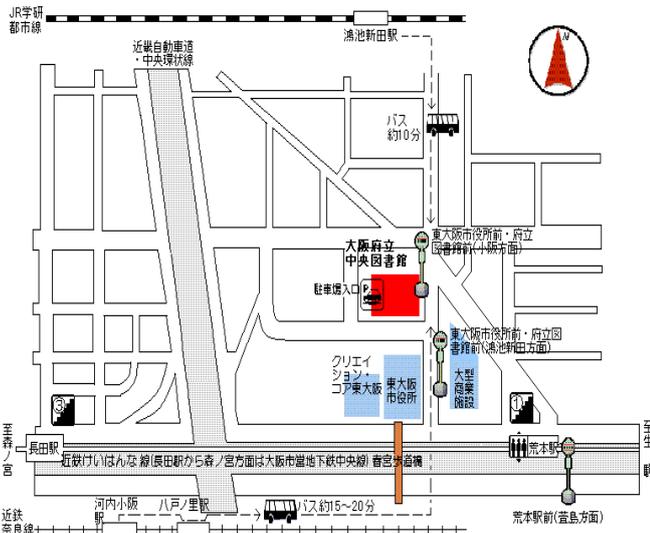
川中邸屋敷林(東大阪市今米)

【講師紹介】

南 光弘(みなみ みつひろ): 東大阪観光協会まちガイドボランティア講師・東大阪文化財を学ぶ会会長、河内の郷土文化サークルセンター理事などを歴任。フィールドワーク実践を大切にされた地域史研究を長年たずさわる。

※障がいなどの状況により、配慮が必要な方は、事前にお知らせください。

※当日は先着順ですので、ご理解のほどよろしくお願いします。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線(地下鉄中央線乗り入れ)
荒本駅下車(1番出口)北西へ約400M
長田駅下車(3番出口)北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館
生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170

FAX 06(6745)0262

【駐車場】

○有料地下駐車場: 120台/入庫後15分間は無料(平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円)

○詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>